

whats 「^{じょう}上テレ」?



次代にバトンをつなぐ



猪苗代湖をきれいにしよう

10年以上も前のことになりましたが、猪苗代湖は日本一きれいな湖という評価を受けていました。それが、2008年、日本一の称号を失います。その年からわれわれの活動は始まりました。「猪苗代湖をきれいにしよう」というスローガンを掲げ、ボランティアに呼び掛けて毎年、湖岸の清掃活動を展開しています。



ウミガメへの手紙

「ウミガメへの手紙」は、2018年開催の『第10回世界水族館会議』をきっかけに、小・中学生を対象にはじめた環境保護イベント。会議をただの記念碑にせず、私たちらしく実行に移し、**環境改善という形で結果を残す**。根底に流れる、揺るがない思いです。イベントの最大の特徴は、最後に子どもたちがウミガメ宛てにまとめる“手紙”。「ビニールをクラゲとまちがえてたべてしまって、からだの中がごみでいっぱいになりたいよね。ごめんね」。決して楽観視できないふるさとの海を目の当たりにした子どもたちの決意の言葉には、世界を動かす力があると信じています。

「上テレ」らしさ

このプロジェクトは、24時間テレビという

日テレ系列最強のコンテンツとも連動させ、中テレファンが毎年、参加してくれます。

地元の環境団体「猪苗代湖の自然を守る会」や地元自治体とも連携。地域のために地域の人たちと一緒に始めた取り組みですが、報道・制作セクションも加わり、ゴジてれChu!での連続的な企画や特別番組の制作にまで発展します。



取組みを始めてから12年、失いかけた自然の摂理は一朝一夕には取り戻せません。

長く続けることが大事です。それが地域との結びつきを深めていきます。中テレは素晴らしい湖「猪苗代湖」をこれからも盛り上げていきます。



最後にアカウミガメの産卵が確認された

のは、2015年9月の新舞子ビーチ海水浴場でのこと。産卵北限域とされる浜通りの海で、目標はウミガメの産卵を確認すること。ウミガメが安心して産卵できる環境はどのようなものなのか？

そのために私たちがすべきことこそ、故郷の環境を後世に繋ぐことに直結していると考えます。

